

〔解説〕 特集 / 空気調和・衛生工学会と地球温暖化防止

空気調和・衛生工学会としての取組み

水野 稔

空気調和・衛生工学 80 (平 18 2) pp.103~104

SHASE にとって、地球温暖化緩和問題は重要な社会貢献のできる課題である。本稿では、地球環境対応と SHASE の関係を考察したあと、学会の取組み状況を紹介します、今後の課題について述べた。

〔講座〕

IT 時代の計測・制御技術の動向(1)

デジタル百葉箱による自律的な気象データの共有

江崎 浩・砂原秀樹

空気調和・衛生工学 80 (平 18 2) pp.167~172

インターネットへの接続性を高めた気象観測ユニット(“デジタル百葉箱”)が登場し、その低コスト化とともに観測や分析ツールも充実しつつある。さらに、ブロードバンドインターネット環境の整備とユビキタスネットワーク環境の構築は、これらデジタル百葉箱をインターネットに接続可能とし、自律的な環境情報の共有と加工を実現する環境の構築を推進可能としつつある。本稿では、デジタル百葉箱の社会的な意味と技術的な要件を概観するとともに、デジタル百葉箱の応用に向けた取組みの一つである Live E!の活動の紹介を行っている。